

『個人山行： 山スキー・蓮華温泉』

2015年3月29日～31日
藤本嘉高

◎29日：茨木駅～南小谷駅～栂池スキー場 小雨

信濃路は雨、安曇野を過ぎると近くの山々に雪が現れ、沿線のスキー場が寂しく続く。南小谷駅下車、殆ど無人駅になってしまった大糸線で、有人駅は何となくほっとする。接続の良いバスで小雨の中を栂池まで私一人乗車。栂池に着くと雨は上がり、除雪が進んだアスファルト道を白馬 YH まで歩く。YH 着、天然記念物・川上犬が迎えてくれた。

◎30日：栂池～蓮華温泉 快晴

天狗原へ： YH からゲレンデに入り、スキーでロープウェイ駅まで滑る。登山届提出→切符購入→ロープウェイ→自然園駅→入山説明→入山。雪は成城大学ヒュッテの赤屋根が出ている程度。出発直後から何故かシール歩行が困難で、ビンディングを解放して見直す。

苦労して天狗原に着いてスキーを脱いだ所、兼用靴が滑りモード状態の凡ミスであった。

微風快晴・山の神で休憩する。素晴らしい眺望360度の視界「白馬乗鞍岳の記念碑」に向かい手を合わせる。近年・雪の天狗原を訪れる会員の中で、私は回数が多い方だと思う。

蓮華温泉へ： ヘリポートに向けて滑り・下降点に立つ。ここで、岡山の人から同行を頼まれ・快諾する。雪は豊富で、雪質は適度に締まり山を滑るには最高である。同行者は上手であるが途中から「疲れて度々転倒、一人なら一寸不安だと言う」。やがて橋が見えて来て渡る、明朝の凍結が心配の場所である。14時蓮華温泉着・天狗原から1時間30分。

玄関前にスキーは一本も立っておらず、私はスキーを雪面に刺す。宿泊は我々二人だけで、さっそく湯に浸かる。純白の北アルプス連邦を見ながらの夕食・ビールが一層うまい。

◎31日：蓮華温泉～木地屋 快晴

角小屋峠へ： 朝・撮影して出発。広場を過ぎると、凍結した斜めの道が70～80m続き、慎重にキックステップで進む。スリップすれば谷底へダイビング。橋に出ると「積雪で橋の両側が高く、橋は低いので」滑落到注意しステップを作る。渡ってからスキーを履く。

林道を進み、いつもの下降点に着き・上から観察。急で狭い雪面は一枚状態で雪崩の心配はないがシュプールは見えない。アイスバーンの谷底に一気に滑降・樹木の間を抜けて谷を渡り、



(天狗原・山の神)



(頸城の山と日本海・天狗原)



(朝日岳方面・振り沢より)



(蓮華温泉の朝)

岩と大木のある神々しい所に出た。ここからはシール歩行で角小屋峠を目指す。

快晴の林道～ヤッホー平～角小屋峠の間は楽しいハイキング。北アの名峰、雪倉岳・朝日岳・明星山へと続く（ヤッホー平のビデオと写真は最高に撮れた）。さらに林道を進み、屏風のような角小屋峠下に着く。急登をコールテックのシールが抜群に効き・楽に登れた。



(雪倉岳・ヤッホー平)

木地屋へ： 快晴の峠、360度の美しい風景を撮る。

スキーワックスをていねいに塗る。スタート→峠から雪庇状を直滑降・右に向きを変え、尾根に沿った急斜面の下を滑る。積雪量の多い今年、尾根上部の雪庇状ブロックは落ちておらずブロック雪崩に注意する。一枚状の急斜面を一気に直滑降し、高速で対岸の登り坂を上がってしまう。ここから斜面がトラバース気味に緩斜面が続き、スキーは滑らない。



(朝日岳方面・ヤッホー平)

斜面の滑りが良くなって来ると楽になり、右手の見落としそうな小さい谷に入る。谷の斜面を回り込み

雪で埋まった谷を渡る。雪が深いのでスノーブリッジになっていない。ここからは深い樹林の中を、蛇行する林道・ショートカットを繰返して樹林を抜ける。木地屋も近くなり、急カーブを曲がると除雪終了点にな



(蓮華温泉ズーム・ヤッホー平)



(朝日岳方面・角小屋峠)

っていた。例年はもっと村近くまで滑れるのだが…残雪2m程で異常に多い。

終了点に車が一台あり、スキーを積んでいる。先に挨拶されて私も挨拶をした。そして、平岩まで乗せて貰えないか聞くとOK。同行者着・すぐに乗車、平岩駅 12:05 着であった。「快晴の2日間・最新の山スキー道具」私に快適な山行を与えてくれて……**シーハイル**。